令和元年度　学校評価について

4：よくできた　3:できた　2：あまりできなかった　1:全くできなかった

	評価の観点		回答者数(%表示)				今後の改善について	自己評価の妥当性（学校関係者評価の意見等）
			4	3	2	1		
学校運営	**開かれた学校づくり**	家庭や地域の人々への情報発信	40%	60%			・個人情報保護の観点から、なかなか思うように進んでいない部分もあるが、内容を精査し、回数を増やし発信していきたい。	＜学校運営について＞ ・概ねは教育目標に向かって進んでいると感じる。 ・安心して生活できる学校、子どもを誇りに思う教師、少ないスタッフで多くのカリキュラムをよく実行し、目標を達成できていた。 ＜学習指導について＞ ・授業の内容の理解が不十分な生徒への十分な対応・指導をお願いします。 ・授業の進め方や生徒との関わり方に工夫・改善を加えてよく指導できていた。 ＜生活・生徒指導について＞ ・生徒との対話、内面理解を今後も継続してほしい。 ・問題を抱えている生徒一人一人に十分なケアをお願いしたい。 ・家庭学習・生活の両面で生徒の意欲・取組に差が生じているのではないか。 ＜特別活動について＞ ・生徒の自主性を重視し、主体的に活動できるような特別活動であってほしい。 ・子どもたちが楽しそうに、しかも真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。 ＜情報発信・地域連携について＞ ・地域と密着した学校、地域が見守る、地域と共に学ぶ学校だと思う。 ・地域行事やボランティアに参加できているのは、今後も継続してほしい。 ・学校から家庭への情報発信が不十分に感じる。頻度を増やして欲しい。 ＜その他＞ ・体育祭、文化祭などの学校行事については、臨機応変に対応できていた。 ・子どもが関わる行事等の関係機関（学校・市・自治協議会・ＰＴＡなど）同士で情報交換（連絡調整）をさらに進めたい。 ・朝来地域ならではの特色を活かして、よりよい持続可能な教育活動の仕組みづくりを進めたい。
		オープンスクール（学校公開）など住民参加の教育活動の推進	45%	47%	8%			
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	16%	79%	5%		・問題行動は少ないが、生徒の内面理解に重点を置き、個々の力だけでなく、集団の力を伸ばす指導を充実させたい。 ・いじめやネットトラブルは増加傾向にある。教師が子どもの声を丁寧に取り上げ、子どもの小さな変化を見逃さない指導体制を強固にしたい。	
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫						
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応						
	進路指導（中）	進路選択能力の育成	17%	83%			・進路実現に向けて、目的意識をしっかりと持たせ、将来の自分自身に展望を持ち、進路選択ができるような指導をさらに継続したい。	
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	38%	60%	2%		・危機管理マニュアルはあるものの、理解度や訓練が不十分である。今後は教師だけの防犯訓練や地域と連動した訓練も実施し、地域の現状に沿ったものになるよう、改善したい。	
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	21%	71%	8%			
教育課程	**自ら学び自ら考える力の育成**	指導内容の工夫改善	18%	59%	23%		・授業の構造化はまだまだ改善の必要がある。ＵＤの手法を活用し、指示の出し方、学習意欲向上につながる声かけなど、授業改善が必要である。 ・校内研修で何度も授業改善に向けた取組を進めたものの、定着には少し改良が必要である。次年度も引き続き研修を進めたい。 ・ＩＣＴ機器の使用や、教材の工夫を含めた指導法の改善をしていかなければ、確かな学力や主体的な学びにはつながらない。 ・道徳については、教科化が完全実施になる中、時数はもちろんのこと、内容を充実させ、道徳心の醸成に努めたい。	
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	18%	50%	32%			
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	17%	75%	8%			
	外国語教育（小）	授業研究の充実と指導の工夫						
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	25%	58%	17%			
課題教育	**人権教育**	人権尊重の精神の育成	17%	75%	8%		・人権意識は向上しているが、いじめの事案はゼロではない。自他それぞれの人権を大切にする指導を継続し、さらに充実させたい。	
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	42%	58%			・トライやる・ウィークの取組が自分の進路を考えるきっかけになるよう、事前や事後の指導を充実させていきたい。	
	キャリア教育	社会的自立に必要な態度や能力の育成	17%	75%	8%		・学校としてのキャリア教育の方針や位置づけを再度全職員で共通理解し、９年間を見据えた連携した取組を進めたい。	
特別支援教育		校内の指導体制、個に応じた指導	17%	71%	13%		・生徒の特性に応じた対応に課題が残る。 ・さらに生徒理解を進めて全職員で共有し、個に対する支援や指導を充実させたい。	
あさごドリームアップ事業		特色ある学校づくり	29%	63%	8%		・内容を今一度精査し、子どもたちの実情をふまえ、地域に根ざし、地域人材の活用も積極的に取り組んでいきたい。	
その他	**・福祉教育（手話を含む）の充実** **・学習環境の整備（教材・教室環境など）**						・初めての手話の取組であったが、教材や講師の選定など、さらに吟味をして取り組みたい。 ・教材は、デジタル化して保存・共有を目指したが、十分に運用できなかった。 ・教室環境等、全職員で様々な角度から意見を出し合い、学びやすい環境作りに取り組めた。	